



弁論大会



7月15日、国語科の授業で、毎年恒例の弁論大会が行われました。

伝えたいことを明確にして「書く」こと、相手に伝わる声の大きさや姿勢などを意識して「話す」ことなどを学習のポイントとして、テーマ設定や原稿作成、発表練習に取り組みました。

当日は、緊張感のある雰囲気の中、生徒たちは大勢の人の前で弁論をすることができました。声の大きさや話すときの目線を意識したり、自分の作品を紹介したり・・・自分の意見や考えを他の生徒や職員に伝えるために、生徒たちは学習の成果を発揮することができました。

また、全員が審査員となって評価を行い、『最優秀賞』、『優秀賞』が選ばれ、校長先生からは特別賞である『中溝賞』が贈られました。賞を獲れてうれしそうな生徒、他の生徒の受賞を祝い喜ぶ生徒、思うような結果が出ずに悔しそうな生徒・・・その様子は様々でしたが、どの生徒も一つの学習に最後まで取り組んだ達成感を感じていたように思います。

どの弁論からも「伝えよう」という気持ちが伝わってくる、素晴らしい大会になりました。

【弁論のテーマ】
ぼくのヌンチャク
わたしの名前
しょうしこうれいか
人はなぜ悪いことをしたいのか？
努力を継続できる人間になるために
ひるやすみと部活
競馬は賭けをしなくてもおもしろい
ゲーム依存症とは
世の中が平和になるために
長い距離を走りたい
ねこ
絵を描き続けるために
ゴジラ

